

科目名	専門演習 I A	
担当者	平手 賢治 / HIRATE, Kenji	
科目情報	法律 / 必修 / 前期 / 演習 / 2単位 / 3年次	
科目概要	授業内容	<p>本年平成25年度は、M. サンドル著（鬼澤忍訳）『これからの「正義」の話をしよう—いまを生き延びるための哲学—』（早川ノンフィクション文庫、2011年）を用いて、倫理的、法的問題に取り組みます。各自担当箇所を報告してもらいます。</p> <p>対象者としては、民間への就職希望者だけでなく、大学院進学、法科大学進学、公務員試験、各種資格試験、企業、等あらゆる分野にわたって、夢をもって努力する元気な人を歓迎します。</p>
	到達目標	<p>前期専門演習 I A では、社会人として恥ずかしくないマナーと必須の能力を身に付けることを目標とします。具体的には、各自今まで学び身につけた学問を基礎に、他説からの批判がなされるという緊張感の中で、事前に考えてきた自説を言葉に表現し、相手を納得させることができる能力を身につけること（端的に言えば、ディベートに耐え、法的思考力を身につけること）を目標とします。</p>
授業計画	<p>(1) オリエンテーション（研究発表の日程調整、自己紹介など）</p> <p>(2) 各自報告&amp;議論</p> <p>(3) //</p> <p>(4) //</p> <p>(5) //</p> <p>(6) //</p> <p>(7) //</p> <p>(8) //</p> <p>(9) //</p> <p>(10) //</p> <p>(11) //</p> <p>(12) //</p> <p>(13) //</p> <p>(14) //</p> <p>(15) //</p>	
自学自習	事前学習	<p>授業前の準備学習は、とても大切です。参考文献は最低読んで理解しててください。学習時間の目安としては、多ければ多いほど良いのは当然ですが、標準的な学生で、最低毎週4・5時間程度の予習を求めます。</p>
	事後学習	<p>授業に集中すれば復習はあまりいりませんが、各自ゼミにおいて興味をもった分野の研鑽に努めることを求めます。</p>
使用教材・参考文献	<p>【教】・【参】 M. サンドル著（鬼澤忍訳）『これからの「正義」の話をしよう—いまを生き延びるための哲学—』（早川ノンフィクション文庫、2011年）。</p>	
成績評価方法と基準	<p>報告・発言内容等をもとに総合的に評価いたします。</p>	
備考	<p>専門演習 I B（平手）を引き続き必ず履修すること。</p>	